

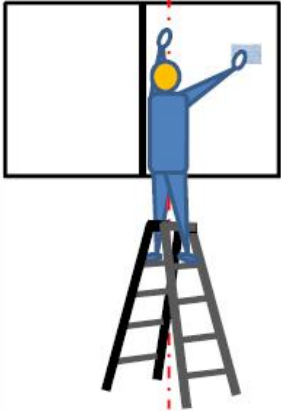
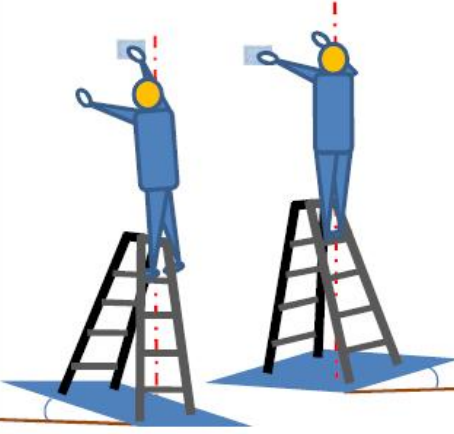


ヒヤリハット報告書記入 講習手順

1. 下に示す絵を参考に、ヒヤリハット用紙への記入練習を行います。
2. 約 15 分で 3 つ書きだしてもらいます。1 つ以上は必ず書いてもらい、延長は 5 分の 20 分で終わらせます。
3. 一度用紙を集め、再度用紙を配布して誰が書いたか分からなくして内容が想像できるか見ていただきます。
4. 実際に書く時には情景が浮かぶような書き方を目指してもらいます。

乗り出し	天板立ち	乗り移り、跨り	傾斜、軟弱地盤
			
<p>① 身を乗り出して体を支えられず落下 ② 脚立を足で押し倒れて落下 ③ 壁を押した反動で脚立が傾き落下 ④ 脚立の足が沈み傾いて倒れ落下 ⑤ 跨いだ体勢から戻る時に揺れ落下 ⑥ 風に煽られて落下 ⑦ 荷を持ち足元見えず踏み外し落下</p> <p>⑧ ガラス・壁が割れて前のめりに落下 ⑨ 傾斜した踏ざんの端に足を掛け倒れて落下 ⑩ (体調不良・恐怖心で)めまいして落下 ⑪ 台車・通行人がぶつかり揺れて落下 ⑫ (電動工具)コードを足に引っ掛け反動で落下 ⑬ (天板から降りる時に)足を踏み外して落下 ⑭ 他</p>			

ヒヤリハット報告書

~をしていた時	~しそうになった	原因は~であり	~(対策)する

ヒヤリハット例題に対して報告を書かれたものに、情報が不足しているとの確かな対策が出来ません。どの様に修正したら良いかを加筆しました。また、対策も現実的又は危険源を無くす様に書きましたので、参考にして下さい。

脚立を利用して

~をしていた時	~しそうになった	原因は~であり	~(対策)する
*倉庫にレールぼとを耳なりに 行った時 1.5m	高い所のレールやがまぼとを ぎはたつに乗って じつた昇りにぐらつて 落ちそうになった	上に積み重ねてあるので、 それを「バビ」とも思、T=の 原因であり。 (積り重さすぎと思は)	積み方をもう少し考える が、高所に手は、もう う。 (バビとホモは T=のT=)

積み方をみなさんで試してみて写真を残しておくことが肝心です。
 脚立に乗っての作業はやめて、(可搬式)作業台を使用して下さい。
 ☆作業台とは、足元の幅が40cm以上ある物を言います。


5尺

脚立の天板に立って 作業していた時	たおれそうになった	原因は、バランスを くずしたからであり	天板ではなく 1つ下の段に立っ てつかまいる所を 確保する
----------------------	-----------	------------------------	--

基本的に脚立に乗って作業はしないことですが、(可搬式)作業台を使用して下さい。

のぼって けい光とうをかえて した	たおれそうに おちそうに	天板より下ったので 7尺	もう2-3段 高い物にして きたいである。
-------------------------	-----------------	-----------------	-----------------------------

脚立の天板に立つのも危ないですが、跨ぐのも危ないです。
 それは(右)足を戻す時に(左)足を踏みかえなければ
 両足が踏み棧に乗らず、左足を踏みかえてバランス
 を崩すと片手に物(蛍光灯)を持っているので、天板
 と離れる方向に体の重心が移動し脚立から転落す
 ることになります。



1段目は左足を踏みかえなければ右足が乗らない
 ので、踏み替えずに降りるのも足元見えず危ない。



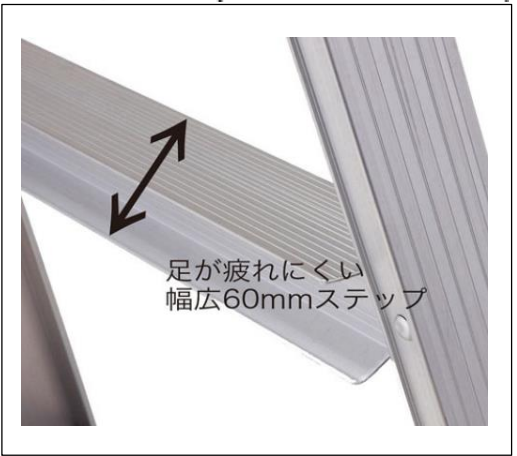
左の写真は、天板から二段目の踏み棧で跨いだ後右足を戻した時の物です。
 (左)片手で脚立を持たなければ、外側へ重心
 が移動し転落します。
 よって、跨いだ足を戻す時が危険です。

荷物を持ち脚立から 足を踏み外しそうにしている時 高い所の荷物の下には おろさずと置いていた時。	脚立を1段ふみはかして 地面に滑り止めのテープを貼った	荷物の重みで脚立 に力が入りすいすい倒れ かけた様になった 同じ向かくと思いついて テープを貼っていた	脚立のステップの 幅広のものを使う
---	--------------------------------	---	----------------------

1.5m

15kg 及び
400×300×200

1. (想定絵から)荷物の重さを推定で記入される、及び両手持ちか右か左の片手もちかなど書かれると状況が想像し易くなります。荷の重さが10kgと0.2kgでは転落のリスク度が変わってきます。
2. 脚立で一番ステップの広い物は長谷川工業の物で6cmです。靴幅11cmより狭く安定しません。
重い物は下に置き、脚立を使用しないことが肝心です。



梯子をどうしていた時 脚立は滑り止めのテープを貼った	脚立の足に滑り止め テープを貼った。	脚立の足に滑り止め テープを貼った。 滑り止めのテープを貼った	脚立は滑り止めの テープを貼った
-------------------------------	-----------------------	---------------------------------------	---------------------

4m

脚立や梯子の足の部分に滑り止めを行う事は良いことです。身を乗り出さないことが肝心です。

脚立を使用して、カメラを 取り付けようとした時	バランスをくずして 前へ倒れそうになった	原因は手に力を入れたい 場所の脚立をたてて 作業したことあり。	体勢が無理なく 簡単にとくはいいで 作業する。
----------------------------	-------------------------	---------------------------------------	-------------------------------

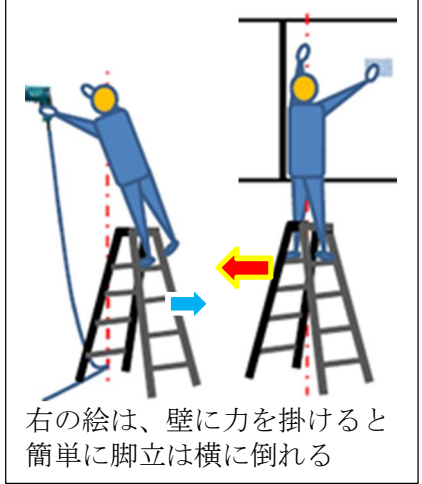
6尺

カメラを吊り下して ネジを締めていた時 から60cmほどはなれて	ネジを締めていた時に はかばかしく前のめりになった 為、バランスをくずして 落ちそうになった。	脚立から降りだして前壁に 寄りかかって作業をしていた。	脚立を横にして 壁に平行にして 作業をする
--	--	--------------------------------	-----------------------------

脚立を壁に対して横(ステップが直角になる)向きにすると脚立の足の踏ん張りが利かず壁を押し(横向きの)力で倒れやすくなります。
可搬式作業台を使用してください。



可搬式作業台



右の絵は、壁に力を掛けると簡単に脚立は横に倒れる

天井をどうじしていた時 天井までとどけなため 天板の上におこ作業を した。	バランスをくずして 落ちた。	天板の上におこ作業をし	長い脚立をつかう。
--	-------------------	-------------	-----------

足の長い脚立(6尺(1.9m)以上の大きな物)は古くなるとガタ付きが大きくなり、上段に昇るほど不安定になります。

例題の如く、 脚立の上で 窓をふいていた時	不安定なところ 脚立を 置いて 倒れそうになった。	地面を安定 おこな板をいそ 引いて安定した面 に脚立を置く	→
-----------------------------	------------------------------------	--	---

上記と同様に、地面や床の問題の他に脚立の問題(ガタツキ)も有ります。

高所作業でヒス打を していた時(壁に)対して	脚立の逆方向に 力がかり、 倒れそうになった。	脚立の保持方法に 問題があり、 (逆方向の補強がなため)	反対側に すい交いを入れる。
---------------------------	-------------------------------	------------------------------------	-------------------

「脚立の反対側に筋交いを入れる」ことは面倒だと思います。
作業台を使用された方が簡単に済むと思われます。

5尺

脚立にのぼって 窓ふきをしていた時	体から遠い所を ふこうとして 落下しそうになった	手を伸ばして届かず 身をのりだしたため	一度降りて 脚立を移動 させてから どうしよう
----------------------	--------------------------------	------------------------	----------------------------------

身を乗り出さない為には、作業位置に合わせコマメに脚立を移動することが一番効果的です。

4尺

脚立の上でさおしいる時	バランスをくずして落下 しそうになった	乗りだしムリな体勢で さおしていたため、	ムリせお脚立の場所 をずらしてさおさる。
工場内の蛍光灯を 交換しようとして いた時	脚立の固定を方 倒しかしておらず、 不安定で倒れそう になった	急いで作業しようと し、自分で又又と はめつけて固定しか 固定しなかつた事。	心に余裕を 持ち、脚立の 固定は必ず全て 使い、安全を優先 して作業にむかひ


対策の項で具体的な行動や個数を書く現実的→「心に余裕を持ち」は「3つ数えてから」などに、「固定具はすべて使い」は「2箇所すべて」などです。

工場内の蛍光灯と 脚立の一番上に乗って 交換しようとしてい た時。 6尺	脚立の固定を片側 しかしておらず、固定し ていない側に体重が かかった時に不安定で 倒れやすかった。	
---	--	--

具体的な対策が浮かばなくてもヒヤリハット事例として記録されることが良いことです。みんなが集まり安全作業を話し合い考えることが必要です。共通認識と、みんなで決めたルールが大切です。

3段ある脚立に 乗っていた時に	落ちそうになった。	つまみさきで、身を のりだしたため	不安定な場所 であることを認識し て足元をしっかりと 固定する。
--------------------	-----------	----------------------	---

1. 「どのような事をする為に脚立に乗ったのか」を書かれると更に状況が想像できます。
2. 「もうちょっと」という時に身を乗り出して重心が外に移動して脚立から落ちることになります。「脚立の上」が不安定な場所であり、身を乗り出すのは「不安全な行為」で、それによってヒヤリハットが起きているのです。

足元が見えなかつた  天板から降りる時に	足を踏み外しに 落ちそうになつた	足元がよく見えて いなくなつた。 つかまる所が なかった。	一度しゃがんで まわりを見たら おろり あわてない
--	---------------------	--	------------------------------------

「あわてない」ことが大切です。天板から後ろ向きで降りる時は、天板の陰で足元が見えていません。脚立の天板に乗ってはいけません。



以上